

甲府市の「子ども未来応援条例」について (その1)

甲府市は、子どもの人権を守り健全な育成を推進するために行政や保護者、地域などの役割を明文化した「甲府市子ども未来応援条例」を今年3月30日に施行しました。

甲府市子ども未来部総務課は、「市民や地域、事業者などと連携して、子どもの健やかな育ちを支援していくための条例としていきたい」と述べています。(山日新聞・R2.1.25より)



甲府市のこの条例の特色の一つは、前文や第3条(基本理念)で、子どもの権利の尊重を明確に掲げていることです。また第14条では、子どもの権利の侵害等への対応について、さらに第16条では、子どもの意見表明や社会参加の機会づくりについて掲げています。

第3条 子どもが健やかに成長し、自立するための応援は、次に掲げる事項を基本理念として推進されなければならない。

(1) 子どもの権利を尊重し、子どもの年齢及び成長過程に応じた意見に耳を傾け、子どもにとっての最善の利益について考慮すること。(以下、略)

第14条 市は、いじめ、虐待、体罰その他身体的及び精神的な暴力の防止と早期発見に努めるとともに、子ども応援者及び関係機関と連携し、子どもの権利の侵害からの救済に取り組むものとする。

2 市は、子どもが安心して過ごし、学び、健やかに育つよう、子どもの貧困問題に総合的に取り組むものとする。

第16条 市は、子どもが社会の一員として自分の意見を表明し、社会に参加する機会及び仕組みを設けるものとする。

2 市は、子どもの意見表明及び社会参加を促進するため、子どもの意見を尊重し、主体的な活動を支援するものとする。(以下、略)

甲府市が子どもの権利侵害に対する救済に取り組むことや、子どもの意見を尊重する姿勢を明言したことは、評価に値すると思います。ただし大切なのは、単に条例を制定するだけでなく、掲げた目標を着実に実行するための体制づくりではないでしょうか。それについて、この続きは来月の山梨ランチだよりで解説します。

今年度の人権啓発パネル展がスタート

コロナ禍の中、今年度の人権啓発パネル展が始まりました。感染防止に努め開催にご尽力いただきました関係者の皆様、そしてパネル展に足を運んでいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

新型コロナウィルス感染症の影響で、人々の生活様式は変わりつつありますが、人を思い大切にする人権意識は何も変わりません。人のために子どものために、私どもの活動は歩みを止めるわけにはいきません。新型コロナの脅威、九州地方の度重なる水害など、私たちは立ち向かい乗り越えていかなくてはなりません。それには人権意識が不可欠です。人権啓発パネル展が、その人権意識を気づかせてくれるきっかけになればと思います。是非、足を運んで見てください。



パネル展

甲府市総合市民会館 8月12日(水)～8月17日(月)



映画会

甲府市総合市民会館 8月15日(土)・10:30～/13:30～

※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面ににてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチだより (2020 年 7 月号)

甲府市立西中学校 (女子)



「人権」と聞けば私には難しく感じ、そしてまた関係のない事だと思っていました。人として命を守る、幸せになるそんな権利は大切だし、誰もがもっているものだ、改めて分かりました。アフリカなどでの様々な戦争や、被害を受けた人々をみて、その苦しむ人々も皆人権をもっているのに私の住む日本とはまるで別世界。権利なんか無いようにあつかわれ、幸せを望む余裕さえも、としない、同じ人でも、環境がちがうことで、人々にも差ができてしまう事はとても悲しいことだと思いました。私は運よく、この平和な日本で毎日学校に行けています。世界に76億人いるなら、きっと76億人が幸せを、平和を願うと思います。その願いが少しでも現実のものになるように、次の時代を担う私たちはしっかり考えをもつことが大切だと思いました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立西中学校 (女子)



今回このような機会を設けて頂き、「人権」についてくわしく知ることができました。小学生の頃から「人権」という言葉は耳にしていたけれど、いざどういふものか聞かれると全く分かりませんでした。杉藤さんからの話を聞き、「人権」の本当の意味を学ぶことができました。私が特にお話の中で心に残っているのは、国境なき医師団と電車のお話です。国境なき医師団の人達は、すばらしい人達だと思いました。また、お年寄りに電車の椅子を譲ることの2つのお話を通して、自分の人権を主張するのではなく、人の人権を尊重できる人になりたいと思いました。また、自分と会話ができる、自分自身と向き合える人になれるよう、努力しようと感じました。